



Rotary



国際ロータリー
第2620地区

<https://www.gotemba-rc.gr.jp/>

御殿場ロータリークラブ

週報



御殿場ロータリークラブ
モバイルサイト

第2675回 例会プログラム

- 例会場／名鉄菜館
- 開会点鐘／18：30
- ロータリーソング／我等の生業
- 内容／観月会 親睦活動委員会

会員慶事

- 会員誕生日／10月14日 豊山 篤君
10月17日 勝又 洋君
- 夫人誕生日／10月13日 勝又 敏雄君 ご夫人 美津代様
10月19日 秋田 敬君 ご夫人 昭子様
- 皆出席／10月7日 小早川豊一君(ロータリー歴31年)

会長挨拶

勝又 誠



新型コロナウイルス感染再拡大のため残念ながら中止になりましたが、去る7月30日に「第57回 報徳社全国大会 in 御殿場」が開催される予定でした。御殿場市内には報徳社が仁杉・北久原、中清水、竈、神山の4社ありまして、二宮尊徳の精神を現代に継ぎ、活かした生活を目指しています。神谷高義君、勝間田太住君、私の3名は仁杉の住人ですから御殿場愛郷報徳社の恩恵に日々与りながら生活しているわけです。

二宮尊徳の報徳仕法と言われるものの第1は「至誠・勤労・分度・推譲」で表されます。これは誠実に懸命に仕事に励み、自分の経済状況に応じた身の丈に合った生活をして、蓄えた資金や力

を自分の未来や子孫また社会のために使おうという極めて現実的で実践的な運動です。他を思い遣る気持ちはあっても、自分や会社に余力がないと実際にはなかなか他者のためにとということにはなりませんから、推譲できるように生活していこうというものです。第2は経済と道徳の融合ということで、「経済なき道徳は寝言であり、道徳なき経済は犯罪である」というものです。掛川にある報徳社本社には「経済門」「道徳門」と刻まれた一対の門があり、ここを歩いて中に入るしつらえになっています。このあたりのことは以前、芹澤正明君の卓話で聞いていますから繰り返しになります。

二宮尊徳は1787年生まれで江戸時代後期を生きた人ですが、その仕方はロータリーの社会奉仕の考え方に先行していました。米山梅吉翁は81年後の1868年生まれですから、報徳仕法を知らなかったはずはありません。



会長挨拶用
QRコード

10/6の出席報告

会員数	出席計算に用いた会員数	出席者数	暫定出席率	前々回の確定出席率
54名	52名	44名	84.62%	100%

欠席者（8名）

※やむを得ず欠席される方は、午前9時50分までにご連絡下さい。



司会
池上 司君



出席報告
菅沼良将君



IMAGINE ROTARY
イマジン ロータリー

次回
10月20日の
例会

★東山荘記念館
★12：30点鐘
★これからの小山町のビジョン
小山町長 池谷晴一様

米山月間に因んで

第2620地区
米山記念奨学委員会

委員長 渡辺 郁様



米山記念奨学事業は日本のロータリーがつくり育てた独自の事業で全国34地区が参加する多地区合同プロジェクトになります。1952年の事業構想の立案以来、一貫して日本で学ぶ外国人留学生を支援しています。また1967年には財団法人化し、現在は公益財団法人ロータリー米山記念奨学会として日本のロータリーが共同して奨学事業を運営しており、その財源はすべて皆様からの寄付で成り立っています。最大の特徴は「世話クラブ・カウンセラー制度」で、経済的な支援だけでなく世話クラブやカウンセラーが中心となって奨学生を精神面から支え、積極的にロータリー活動に参加してもらう中で人と人との交流を大切にするとともにロータリーの精神を奨学生に伝え、立派な国際人に育てるということが使命となっております。

現在、誕生から70年余りの歳月が流れましたが「民間外交として、世界に平和の種を蒔く」という米山記念奨学事業の使命は一貫して変わっていません。むしろ今日の世界情勢と日本の置かれている状況を考えるとき、その使命はますます重要性を増しています。米山記念奨学事業の創始の理念を、今を生きる日本のロータリアンが忘れることなく次の時代に繋いでいかなければならないと思っています。

奨学生は月1回以上、世話クラブの例会に出席をし、期間終了後も学友としてコミュニティーに参加するなど地域社会との交流の輪を広げてもらいます。その奨学生の日常の相談役をつとめ、カウンセラー

として心のケアをするのが世話クラブとなります。地区内でも地理的に世話クラブを引き受けるのが難しいところもあると思いますが、ぜひ複数のクラブで奨学生・学友が訪問するというのを受け入れていただけたらと思います。

米山記念奨学事業は国際奨学団体としては事業費年間約14億円、奨学生数年間約900人を受け入れ、民間奨学事業では国内最大規模となっています。これまでの累計奨学生数は22,875人で当初はアジアの国を中心に受け入れをしていたそうですが、現在では129の国と地域からの学生を受け入れています。2620地区ではこれまでに543名を預かりましたが、中国からが一番多く、続いてベトナム、台湾となっています。

奨学生の選考基準は◎将来の目標がきちんとあるか ◎留学の目的がきちんとあるか ◎我々ロータリアンとの交流の熱意があるか ◎人柄がよいか ◎コミュニケーション能力があるかなど、将来日本との懸け橋になりうる人材ということが求められ、経済状況は評価の対象外となっております。

米山奨学事業の成果は学友の活躍にあります。現在、母国に戻りその発展に尽くす人、世界と日本との懸け橋として活躍する人、世界平和や国際理解推進のために貢献する人など米山学友は世界を舞台に様々な活躍をしています。

今後も奨学会への寄付や世話クラブへの立候補など、この事業をロータリアンの手で支えていただきたいと思います。



10/6のスマイル



ガバナー公式訪問、和やかなうちに終了しました。肩の荷が一つ一つ降りていきます。

会長・幹事

Rotary 国際ロータリー第2620地区

御殿場ロータリークラブ

◎例会日/木曜日
◎例会場・事務局/YMCA 東山荘
静岡県御殿場市東山1052
電話/0550-83-1133 FAX/0550-83-1138
<https://www.gotemba-rc.gr.jp/>

会 長 ○ 勝又 誠
幹 事 ○ 井上 元
会報委員長 ○ 長田 崇